

令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
北野地区では、2グループに分かれて懇談しています。				
1	北野①	【意見】 ■除雪について① 昨シーズンにおいて、車1台すれ違えない場所があった一方で、熱心にクレームを言えば除雪してくれるとの噂が流れている。道路幅が極端に狭く子供や町民の移動に困難をきたすのが常態化していいのだろうか。	建設水道課	昨シーズンの反省点を踏まえ、道路に雪を長期間堆積しないよう、市街地内の雪堆積場所の排雪を強化しています。改善を図りながら進めていますが、冬の除雪においては、その年の雪の降り方で状況が変わってくることをご理解をお願いいたします。
2	北野①	【意見】 ■除雪について② 除雪車から飛んできた雪が家の外壁に当たったり、住宅側に固い雪が盛り上がりたりしている。町民すべてが丁寧に自宅周りの除雪をできるわけではないが、広報や回覧で「道路に雪を捨てないでください」と目にする。「あつたかす」どころか「つめたかす」これでは鷹栖は雪がひどいからおススメできない。	建設水道課	運転手は細心の注意を払って作業しておりますが、状況によっては、どうしても雪が飛んだり、住宅の間口に固い雪が残ったりしますので、ご理解をいただき除雪へのご協力をお願いいたします。また、自宅の敷地内の雪を道路に出す行為は、道路法、道路交通法によって禁じられていますので、ご理解をお願いいたします。
3	北野①	【提案】 ■除雪について③ 役場での対応が限界なら、信頼できる事業者を紹介するなど対策はないのか。町営住宅の中では入居者から積立金を集め、業者に除雪してもらい、住民の除雪当番の場所を減らしたとの事例もある。例えば町内会と協議し、町内会費から地域の安全のために除雪に回す予算が確保できないかと役場が歩み寄る体制づくりも必要では。 人口が減り続け、除雪しなくていい場所が増える未来よりは、除雪を必要とする場所がありここに住む人がいるのは町が衰退していないことに繋がる。除雪の現状に対し背を向けているような誤解を招く態度ばかりでなく、町民に歩み寄り、住みよい町であるべきでは。	建設水道課	除雪作業を効率的に進めるためには、町内会の皆さまの協力が必要です。宅地内の雪を道路に出す行為や、路上駐車は除雪の妨げとなり、除雪の遅れや道路への雪の堆積に繋がってしまいます。町内会には、毎年、周知と協力をお願いしておりますが、まずは、一人一人が冬のルールとマナーを守っていただくことが、道路の除雪を効率的に進めるために必要と考えますので、引き続き町内会にご協力をお願いしてまいります。 また、昨年、町内会長様に集まっていただく機会を設け、町内会の自主的な活動、例えばルールマナーの指導（パトロール）や、宅地内の共同排雪など、何か取り組みが出来ないか、方向性について、ご相談いたしました。

令和元年度 秋のまちづくり懇談会 内容

NO.	地区	発言要旨	担当課	令和元年度の対応、追加説明
4	北野②	<p>【意見】</p> <p>■まち懇について</p> <p>毎回、来る人が決まっている、固定化。このメンバーであれば、夜に行わなくても良いのでは、夜は出るのが億劫だし、子どもがいると厳しいはず。対面形式でなく、グループワークで和やかな雰囲気になったことは良いこと。町内会の班長、役員は強制的に出るような仕組みにしてはどうか。強制力がなければなかなか動かない。</p>	総務企画課	他地区では町内会から班長さんに呼び掛けていただいたり、公民館の会議と併せて実施したりという方法もっております。主事さんと相談しながら、地域の皆さんがより参加しやすい時期および時間帯を設定できるよう、工夫いたします。